2018年7月14日（土）

ふるさと創生大学　夏期集中講座　2018年月8月1日（水）～5日（日）

第１日　ふるさと創生大学講演会と遠野緑峰高校研究報告　　主管：拓心全人塾

8月1日（水）13：00～16：00　遠野緑峰高校同窓会館　拓心館

≪講演≫　「南部藩（遠野）―伊達藩（住田）が魅了する旅のこころ」

講師：近藤太一（京都　市民大学院）ほか

藩境の地、遠野と住田。なぜこの地を訪れたいと思うのでしょうか。
人びとを魅了する風土とは何か、そのことを考えあいます。

≪研究報告≫　遠野緑峰高校　生徒

・取り組みの報告

・感想と意見の交換

≪予定討論≫　岸本正美「岩手県気仙郡住田学と京都学」
藤井洋治「遠野・住田の産業と文化」
千葉修悦「住田の文化的伝統」　ほか

第２日　ふるさと創生大学講演会と遠野緑峰高校研究報告　　主管：拓心全人塾

8月2日（木）10：00～12：00　遠野緑峰高校同窓会館　拓心館

≪講演≫　「二宮尊徳が描いた地域発展構想」

講師：中野健一（国際文化政策研究教育報告学会　会員）

江戸時代後期と現代に共通する経済の低迷、人口問題、自然災害、政治への不信。
あの時代、尊徳がめざしたのはどんな社会像であったでしょうか。
農村立て直しに成功した「報徳仕法」を通し、今日の社会を考えあいます。

≪研究報告≫　13：30～15：30　　遠野緑峰高校　生徒

・取り組みの報告

・感想と意見の交換

≪予定討論≫　中谷武雄「A．スミスから学ぶもの」
峰尾恵人「職人産業の未来」
金井萬造「現代の地域発展構想」　ほか

第３日　震災まちづくり学シンポジアム

8月3日（金）13：00～17：00　住田町役場　交流プラザ

あの東日本大震災を受容し、真摯に向き合い、震災をくぐりぬけてきた経験を通し、
今日を生きるかたちについて、考え、語り、学びあいます。

≪基調講演≫　60分

学生ボランティアの今日的意味―経験の価値　講師：東北学院大学元副学長　佐々木俊三　氏

≪基調報告≫各30分

悲嘆のなかに生き続ける真のつながり　講師：岩城和彦　氏

気仙三十三観音徒歩巡礼のこころ　講師：成就院住職　福田亮雄　氏

震災からの再生と復興　講師：京都　市民大学院

≪感想・意見の交換≫

≪予定討論≫
・市民大学院　池田　清　　西堀喜久夫　ほか
・拓心全人塾　藤井洋治　　ほか
・教育文化経営学院　　高橋幸英　　ほか
・池上先生との語らい『千葉塾』 千葉修悦　　ほか　　（終了後、夕食会　住田町内）

第４日　ふるさと創生大学　第3回講座　　五葉地区公民館

10：40～12：10　　文化経営学・文化政策　池上　惇
―昼食―（＊そばなどを調理し、受講生みんなで食べあいます）
13：00～14：30　　池上先生との語らい『千葉塾』
≪体験発表≫ 1　　こころから消えたふるさと　　及　川　　彌　先　生
≪体験発表≫ 2　　人と出会い　自然とめぐり会う　　小松紀久代　　先　生
14：40～16：10　　地域構想学「縄文人の息づかい」　千 葉 修 悦

第５日　ふるさと創生大学　第3回講座　　五葉地区公民館
13：00～14：30　　体験学習論：理論　藤井洋治
14：40～16：10　　体験学習論：実習　藤井洋治（野菜の生育状況の観察・収穫）

ふるさと創生大学講演会・震災まちづくり学シンポジアム
主　催　：ふるさと創生大学（学長　池上　惇）
協　賛　：拓心全人塾　千葉塾　教育文化経営学院　文化政策・まちづくり大学校
後　援　：住田町・大船渡市・陸前高田市・岩手日報社・東海新報社・住田テレビ依頼予定

ふるさと創生大学　第４回　講座　案内　　8月18（土）11：30～16：00　研究棟（赤い屋根）

「池上先生の誕生会」（主催：拓心全人塾・池上先生との語らい『千葉塾』）
会費：500円　（野菜の収穫・食事準備）＊体験学習論の時間を充てます
Ⅰ　昼　食　会　　―　同じものを、同じ場所で、同じ時間に食べあいます
Ⅱ　池上先生のお話し　―　住田の地とふるさと創生大学
Ⅲ　池上先生への思い　―　ひとりひとりの感想

8月19（日）10：40～16：10　五葉地区公民館
10：40～12：10　　文化経営学・文化政策　池上　惇
―昼食―（＊そばなどを調理し、受講生みんなで食べあいます）
13：00～14：30　　池上先生との語らい『千葉塾』
≪体験発表≫ 1　　あの海とあの船と　　柴田由人　先　生
≪体験発表≫ 2　　歩く、語る、出会う　　澤田幸枝　先　生
14：40～16：10　　地域構想学　魅力の発掘と享受　千葉修悦

【問合せ先】　　ふるさと創生大学　運営委員　千葉修悦　080-6019－3328